算数オンライン塾３月１日の問題　解説

（１）

８分後にＢさんがのぼり始めるので、二人とものぼりになるので、差は変わりません。
その後、Ｂさんが下り始めるのは 16 分後、20 分後にＡさんが平坦な道にきます。
そして 24 分後にＢさんが平坦な道に来て、30 分後Ａさんが登り始め、34 分後にＢさんが下り始めることがグラフで読み取れます。
平地の速さは 4km、のぼりの速さは 2km、下りの速さは５km です。
Ｂさんが平坦な道を歩いているのは 10 分間ですから、平坦な部分の距離は

$4\times\frac{10}{60}=\frac{2}{3}$km です。

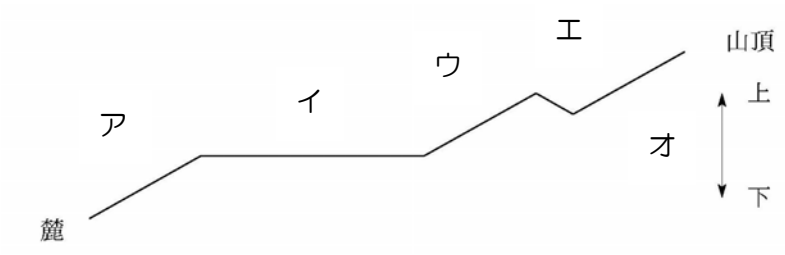
Ａさんが平坦な道にくるのは、20 分後ですから、すでに４分歩いています。

したがってＢさんが平坦な部分に来たとき、二人の距離は$4\times\frac{10-4}{60}=\frac{2}{5}$km

$\frac{2}{5}$km÷（4＋4）×60＝3 分後ですから、24＋3＝27 分後になります。

（答え）２７分後

（２）



アはＡさんが時速 2km で 20 分間かかっているので、$2\times\frac{20}{60}=\frac{2}{3}$ km

イは（１）から$\frac{2}{3}$km　ウはＢさんが 16 分から 24 分の８分で下っているので、

$5\times\frac{8}{60}=\frac{2}{3}$km　エはＢさんが８分から 16 分の８分でのぼっているので、

$2\times\frac{8}{60}=\frac{4}{15}$ km　オはＢさんが８分間で下っているので$5\times\frac{8}{60}=\frac{2}{3}$km

よって$\frac{2}{3}\times4+\frac{4}{15}=\frac{44}{15}=2\frac{14}{15}$

（答え）$2\frac{14}{15}$km